

## 地域産業総合研究所の発足にあたり

八戸工業大学学長 藤田 成 隆



日本の社会が成熟期を迎え、地域と大学との係わり合いも大きく変わりつつあります。また、政府は地域創生を今後の日本の活性化の大きな道筋と捉え様々な施策を提案してきております。その中で地域に密着した高等教育のあり方の見直しを求め、地域の知的基盤育成、地域が必要とする人材育成の中核となる大学の活性化を強く求めています。本学では、これらを取捨選択する形で大学の知的資産を効率的に活用するための学際連携や地域に根ざした研究・教育を推進するための地域連携などを、より効率的に実施するために様々な組織改革を行ってきており、その一環として大学に附置する研究所をいち早く設立いたしております。

附置研究所の役割としては、これからも広く科学技術の基礎および応用に関する研究を実施して、その進歩と地域社会に貢献していくことです。これまでに研究所は、社会の変化や地域のニーズに対応するために、研究所の名称変更や重点研究分野の拡大などを行い、科学技術に関する情報発信や地域産業振興に貢献してきました。事業としては、研究所紀要発行、プロジェクト研究の支援、技術者の養成、シンポジウム・講演会等の開催、学外との共同研究等、地域産業の課題に関する技術指導、産学官金の技術交流などを行ってきました。

昨年4月に、エネルギー環境システム研究所から地域産業総合研究所に名称変更し、科学技術の基礎研究にとどまることなく、産学官金連携の下で地域産業の振興に直接かかわる開発や試作、技術支援等を積極的に実施していくこととしました。また、研究範囲もエネルギー・環境、防災、ものづくり・デザイン、食品・バイオ研究のみならず、新たに街作り、海洋、医工・福祉、航空宇宙研究を含めて拡大・強化しました。

この度、地域産業総合研究所の紀要として初めて発行する運びとなり、本研究所の専任および併任教員が中心となって科学技術に関する論文や報告書を執筆しております。この紀要の内容が、地域産業振興や新産業創生につながる一助になれば幸甚です。今後とも、内容の充実を図ってまいりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。